

マタイの福音書 第6章 33節

「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」

目前の事柄に思いが掴まえられ、手元にあるものないものにこころを煩わされ、捕らえ難い明日のいのちに焦りながら今日を生きる者への言葉である。目前の事柄、手元に有る無し、将来のこと、これらすべてに無関心ではいられないことばかりである。誰にとっても大切なことである。

しかし、ここで強調されていることがある。まず第一に、と二つの言葉を重ね、そのうえで命令する。言葉の重ねと命令口調は、語ることの重大さを明確にしている。だから、まず第一に、求めるべきことを求めなさいである。それを欠いた求めは、結果として求めること自体が虚しくなる。求めても満たされないものばかりとなる。

まず第一に求めるべきことを求めれば、その求めを起点として、あとの求めるべきものがついてくる。それも、与えるお方を知ることができ、与えられものを受ける。必要なすべてを与えられる。求める者が獲得するのではなく、与えられる。まず第一に、と語るお方が与える。神の国とその義をご用意しておられるお方が与える。